



■ 公開シンポジウム ■

食と暮らしのものがたり — テロワールを活かす —

和歌山における「食と暮らし」の活性化をめざしたシンポジウムです。「作る」、「つなぐ」、「食べる」、「活かす」のテーマを設定し、それぞれのテーマに関係の深い研究者と経営者等を講演者としてお招きして、最新の研究成果や取り組みを紹介していただきます。

「活性化」には、人と情報が重要です。本シンポジウムの狙いは、消費者が研究者や経営者らの試行錯誤から成り立った現在の状況を知ること、生産・流通・消費の一連の流れを理解することや、経営者に新しい情報や成功事例、講演中の聴講者の雰囲気を感じ取って次のビジネスに結びつく機会を提供することにあります。「食と暮らし」に関心を寄せる人が集まり、情報を共有できれば、「活性化」への一歩を踏み出すことに繋がります。

本シンポジウムでは、市民と専門家の垣根を取り払い、「食と暮らし」に興味をお持ちの皆さまが、研究者の視点と経営者の視点を同時に味わえるわかりやすいシンポジウムをめざしています。

2017年1月21日
9:30 - 16:25
開場9:00

和歌山大学
松下会館

和歌山大学地域連携・
生涯学習センター

〒641-0051 和歌山市西高松 1-7-20

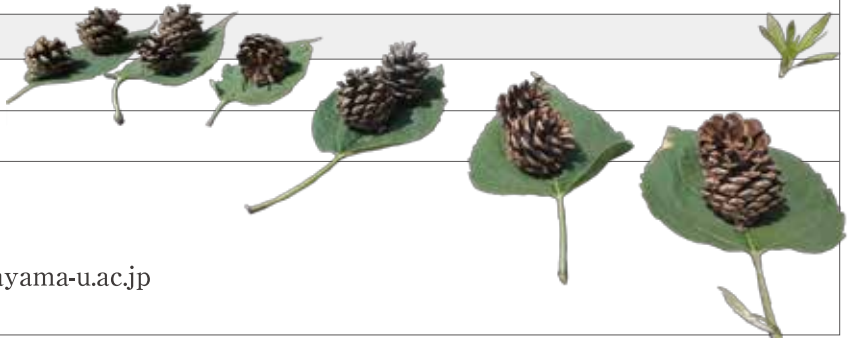
入場無料・申込不要

主催：和歌山大学食農総合研究所、総合地球環境学研究所「砂漠化をめぐる風と人と土」プロジェクト

食と暮らしのものがたり - テロワールを活かす -

プログラム

9:30	開会挨拶・趣旨説明
9:45	田中樹 総合地球環境学研究所 教授 暮らしの向上や災害対処、生態環境の保全をぜんぶかなえる?! - ベトナム中部の事例から - ベトナム中部は、国内有数の貧困地域であり自然災害常襲地です。急速な経済発展のもとでの開発圧力は、貧困の固定化や文化多様性の喪失、森林生態系の劣化などを招き、その影響は、社会的弱者層（山岳少数民族、高齢者世帯など）に強く現れることが懸念されています。深刻なのは、日常の暮らしを支えあるいは貧困から脱却するための生業活動が、その原因となっていることです。対象地域の資源や知恵をつかって、それらを解決する方法を考えてみます。
10:35	— 休憩 —
10:50	井狩篤士 株式会社イカリファーム 代表取締役 「生き残る農業経営」の実践！ 私達は「農業を経営する」という意識改革によって、若い世代がやりがいをを持って従事できる農業を行っています。本シンポジウムでは、余分なお金をかけなくても実行できる私たちの経営ノウハウを紹介して、若い世代に農業を引き継ぐ試みについて共有したいと考えています。
11:20	岸上光克 和歌山大学地域活性化総合センター食農総合研究所 准教授 野菜・果物の流通事情 専門分野は地域づくり戦略論、食品流通論、都市と農山漁村の交流・協働。食品流通における卸売市場の役割とは？、農産物直売所だけで農家さんは儲かるの？など最近よく耳にする「卸売市場」や「農産物直売所」の現状と特徴についてお話します。
11:50	— 昼休み —
13:00	石山俊 総合地球環境学研究所 プロジェクト研究員 / 三村豊 総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター研究推進支援員 家族で語る I ターン：綾部の半農半蕎麦、安喰さん一家の座談会記録より I ターン生活にはたくさんの楽しさがありますが、多くの苦勞もともないます。I ターン者はそうした苦勞を乗り越えながら、理想の生活をめざしています。この発表では、ある家族座談会をもとにして、家族のそれぞれが感じる I ターン暮らしを描いてみたいと思います。
13:30	吉川誠人 NPO 法人にこにこのうえん 理事長 / 株式会社紀州まちづくり舎 代表取締役 まちを元気に！紀州まちづくり舎の取り組み 和歌山市郊外の農地を活用し、人と地球に優しい農業の実践と共に、里山ひろばや自給自足体験などのワークショップを展開。NPO 法人としてぶらくり丁商店街の空き店舗をリノベーションし、「石窯ポポロ」と「almo」をオープン。本講演では、以上の取り組みに加え、集まった仲間たちとエリアのリノベーションに関する取り組み等について紹介する予定です。
14:00	— 休憩 —
14:20	土田高史 山本勝之助商店 代表 和歌山県産ぶどう山椒の海外展開と新規利用法開発 私たちは山椒の販路の拡大を図り新たな需要を創造することが、後継者を育み和歌山の農業を守ることに繋がると考えています。本講演では、その取り組みについて紹介します。
14:50	植田淳子 和歌山大学食農総合研究所 特任助教 人と地域を活かす グリーンツーリズム 「1 回泊まれば遠い親戚、10 回泊まれば本当の親戚」を合言葉に、農村民泊（農泊）を行っている大分県の安心院町グリーンツーリズムに仕事で携わってきました。和歌山でも、“食”と“交流”を通じて、訪れた方も農家の方もますます元気になっていくことを期待しています。
15:20	— 休憩 —
15:40	総合討論
16:20	閉会挨拶



問い合わせ先
和歌山大学教育学部 准教授 荒木良一
TEL: 073-457-7324 E-mail: raraki@center.wakayama-u.ac.jp